

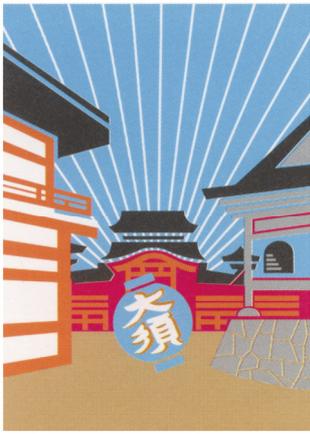


<本年度クラブ会長方針>

**変わる勇気と変える勇気を持ち、  
 和の心でロータリーの輪を広げよう！**

2024-25年度R.I.会長  
 ステファニー A.アーチック

承認 1985年2月12日 会長 飯田昭夫 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F  
 例会日 木曜日12時30分 幹事 木村吉伸 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008  
 例会場 名古屋東急ホテル URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail [office@nagoya-osu.org](mailto:office@nagoya-osu.org)



**第1964回例会**

職業奉仕月間

令和7年1月23日(木)

卓話

於 名古屋東急ホテル  
 会員61名

出席計算数

52名中42名出席  
 出席率 80・77%  
 前々回出席率 82・69%

**例会プログラム**

- ★R財団マルチブル・ポール・ハリ  
スフェロー表彰・バツジの進呈
- ★第2回RFF(ロータリーフード  
フェスティバル)チケット購入依頼  
国際奉仕副委員長 大上亮延さん
- ★卓話

**「ロータリーソング」**

指揮者 松本 哲朗  
 ピアノ伴奏 富根 玲子

**ゲスト**

防衛省自衛隊愛知地方協力本部  
 金山募集案内所  
 所長 平井 邦典さん  
 担当広報官 八木 一夫さん

**ピクチャー**

ラスベガスWONRC  
 アリジット・ユーゼさん

**ニコボックス**

防衛省自衛隊愛知地方協力本部金  
 山募集案内所所長 平井邦典さん  
 担当広報官 八木一夫さん、卓話よ

るしくお願いします。飯田 昭夫  
 尾上 昇・横井 衛  
 鬼頭 茂成・仲林 宏昌  
 平井さん、八木さん、本日は卓話  
 よろしくをお願いします。

木村 吉伸  
 たくさんのロータリアンの皆様のお  
 かけで、この4月より日本に永  
 住することになりました。今後  
 は日本のロータリーでもお役に立  
 てるよう頑張りますので、ご指導  
 ご鞭撻よろしくお願いします。  
 ラスベガスWONRC  
 アリジット・ユーゼさん

自衛隊の皆様ようこそお越し下さ  
 いました。  
 誕生日です。  
 加藤巳千彦  
 堀 曜子

**会長挨拶**

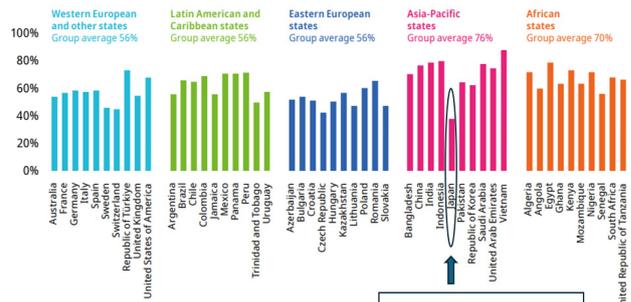
会長 飯田 昭夫

皆さんこんにちは！本日は卓  
 話として「令和6年能登半島防  
 護講話」ピクチャーの挨拶、セシモ  
 ーがありますので、会長挨拶は手  
 短に行います。日本の経営者の知  
 財マインドについてです。

2004年(平成16年)6月2  
 日施行された消費者基本法第7条  
 第2項では「消費者は、消費生活  
 に関し、環境の保全及び知的財産  
 権等の適正な保護に配慮するよう  
 努めなければならない。」と規定し  
 ていることはご存じでしょうか。  
 事業者のみならず消費者も知財の  
 保護に努めなければならないと学  
 生などにも注意喚起したものです。

WIPO (世界知的所有権機関) による2023年調査：知財制度に関する各国の認識度

Figure 4. IP rights' impact on economy - benefits



調査国50か国中の最下位

知的財産権は複雑ですので割愛し  
 ますが、経営者による知財認知度  
 に関して、WIPO(世界知的所  
 有権機関)が行った2023年の  
 調査結果によりますと、日本は残  
 念ながら調査50か国中最下位で  
 してもです。これは何を物語るの  
 でしょうか。日本は失われた30年  
 で、新しい製品を開発しても、製  
 品価格を上げることはなく値段  
 を下げることこの努力をしてき  
 たように思います。知財マインド  
 が低下していたからでしょうか。今  
 後の経営者は、他国に負けること  
 なく、経営に知財の活用をしない  
 と、ますます技術レベルが低下し  
 てしまうので、それを避ける企業  
 活動をお願いしたいものです。

**自衛隊卓話**

「令和6年能登半島防災講話」  
 防衛省自衛隊愛知地方協力本部  
 金山募集案内所  
 所長 平井 邦典さん  
 担当広報官 八木 一夫さん



**要旨概略**

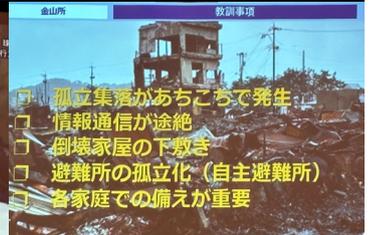
能登半島地震における自衛隊の  
 活動について、現場での写真や動  
 画などを紹介していただきました。  
 ご説明いただきました。マスコミ  
 などでは紹介されていない画像も  
 多く印象深い卓話となりました。  
 以下は要旨概略です。

1月1日16時10分石川県能登  
 地方、珠洲市を中心とする地震が  
 発生。地震の規模はM7.6(気象  
 庁)で、最大震度7を観測しました。  
 自衛隊各部隊は非常呼集を発令  
 し、愛知県名古屋守山区にある  
 第10師団においても、正月ですこ  
 していた隊員たちが続々と帰隊、

準備にかかったそうです。第10師団にオペレーションルームが開設され、金沢駐屯地などからの情報が続々と集め始められたそうです。卓話者である平井邦典さんもその時からこの部署に詰め、一週間自宅に帰らず活動をしていたとのこと。16時45分頃、馳浩石川県知事が第10師団長に災害派遣を要請し、自衛隊の活動が正式に始まりました。

最初の72時間は、人命救助を第一に行動したそうです。「72時間の壁」(黄金の72時間)といわれる人命救助のタイムリミットのこと、一般的に被災後の3日を過ぎると生存率が著しく低下するため、まずは自衛隊は人命確保、捜索救助のために使われます。そのため、普段から72時間は自助の精神で、水や食料など備えをしてほしいとのことのお話は印象的でした。この「72時間の壁」の根拠になっているのは、阪神・淡路大震災の生存率のデータだということです。

現地では、道路の啓開、物資輸送避難誘導などを隊員たちが行っている姿が紹介されました。道がなくなってしまうというエリアも少なくないため、30キロに及び生活物資を背囊に詰めて、隊員たちが、道なき道、泥が膝上まで達する道や崩落した崖などを登って孤立した集落や避難所へ前進していく姿は、感謝の言葉しかありません。



その中の隊員には女性が多くいます。この指摘には驚きを隠せませんでした。

孤立した場所からの住民の避難にも、安全を確保しつつ自衛隊が誘導していく姿が紹介され、その中でもヘットの避難を行っているなど、大切な家族ですからといわれる言葉は嬉しいものでした。

災害派遣活動は、8月31日に終了しました。244日間にわたり、地震災害派遣活動としては過去最長。延べ114万人の自衛官が活動にあたったとのこと。人命救助や行方不明者の捜索、孤立地域などからの救出は1,000人以上、最終日まで続いた入浴支援は49万を超える人たちの心を癒やしたと「防衛日報」に紹介されています。

派遣規模  
人員11延べ約114万人(最大)

\* 防衛省・自衛隊  
令和6年能登半島地震への対応



時約1万4,000人態勢  
航空機11延べ約4,600機(同約110機態勢)  
艦艇11延べ約350隻(同10隻)

統合任務部隊を編成(1月2日〜2月2日)編成解除後は陸自中部方面隊を中心に活動  
即応予備自衛官、予備自衛官の招集(1月8日〜2月2日)(即自約180人、予備自約20人)

**派遣部隊**

- 陸自11中部方面隊、陸上総隊の一部、北部方面隊の一部、東部方面隊の一部、西部方面隊の一部、大臣直轄部隊など
- 海自11舞鶴地方隊、自衛艦隊の一部、呉地方隊の一部、佐世保地方隊の一部、大臣直轄部隊など
- 空自11中部航空方面隊、航空総隊の一部、北部航空方面隊の一部、西部航空方面隊の一部、航空支援集団の一部、航空教育集団の一部、航空開発実験集団の一部、大臣直轄部隊など

**11ロータリー財団マルチプルPRF**

表彰・バッジの進呈  
マルチプルポール・ハリス・フェロー (1回目)

仲林 宏宣  
木村 吉伸・松岡 毅  
ロータリー財団よりマルチプル・ポール・ハリス・フェロー認定バッジが仲林宏宣さんと木村吉

伸さん、松岡毅さんへ贈られ、飯田昭夫会長より手渡されました。多額の寄付を頂きありがとうございます。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
ポール・ハリス・フェローになった後追加寄付をしてフェロー回数(米賃1,000ドル毎)を重ねた人。  
ポール・ハリス・フェロー  
年次基金、ポリオプラス、承認された財団補助金のいずれかに1,000ドル以上を寄付した方。



2月6日(木) 例会の案内  
例会参観 2月2日(日)  
節分例会(職場例会)  
12時30分〜13時30分  
於 大須観音養生院  
本堂ホール(会議室)  
\* 例会参観レモニー・会費あり



麻雀同好会第55回例会  
令和7年1月23日(木) 於 一富士  
優勝 晃延 さん  
準優勝 荻葉 賢二 さん  
3位 杉本 忠夫 さん  
7位 鬼頭 茂成 さん  
B.B. 岡田 尚彦 さん  
新会員の方も参加してにぎやかに開催されました。会員募集中です!

2月13日(木) 例会の案内  
ヒルウォーキング卓話  
岡村 隆徳さん  
公共イメージ向上委員会  
横川 誠人  
深谷 昭広・小笠原和俊  
小澤 幸男・黒岩 麗子  
\* 本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。